

事業所名

はれのね にこ 赤羽志茂教室

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

22 日

法人（事業所）理念		「発達障害児の個性を伸ばし、また、将来少しでも生きやすく、生活しやすくなるように」 「発達障害児の保護者が、1人で悩み続け、孤立しなくなるように」 「地域社会から発達障害に対する偏見を少しでも減らせるように」					
支援方針		運動療育・個別療育を組み合わせ、「発達が苦手なお子様は、特性に合わせてことば音楽療法やABAでの療育を」「切り替えが苦手なお子様、運動療育とABAで切り替えの強化」など。お子様に合わせて柔軟にカリキュラムを作成し、支援をしていきます。					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	基本的な生活スキルの獲得 健康状態の維持、改善、生活習慣や生活リズムの形成・基本的な成果スキルの獲得を身に着ける 特に基本的な生活スキルの獲得の部分の身辺自立に働きかけていくk…水分補給(水筒をあける、しめる)、着替え(洋服、靴下などの着脱)、排泄の自立などを個別に働きかけていく					
	運動・感覚	小集団での運動療育により、 姿勢と運動の保持、動作の基本的技能の向上、姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用・身体移動能力の向上 保有する感覚の活用、感覚の補助及び代行手段の活用、感覚の特性の対応を学んでいく 具体的なプログラム・・・鉄棒、トランポリン、フラフープ、縄跳び、ハードル、リズムウォーク、リトミック、サーキット、ビジョントレーニング、感覚統合遊び(シーツブランコ等)					
	認知・行動	小集団での活動と個別のABAの活動の両方のアプローチから 認知の特性についての理解と対応・外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 (感覚の活用や認知機能の発達、知覚から行動への認知過程の発達、認知や行動の手掛かりと概念の形成) 行動障害への予防及び対応 に働きかけていく 切り替え・順番の理解・待つ・他害行為から言語への変換・こだわりの軽減などを支援していく					
	言語 コミュニケーション	詞音楽療法 個別のABAの活動の両方からの働きかけを行う ことば音楽療法・・・動物のオノマトベ、乗り物のオノマトベ、2語文、音楽と文字と絵を日本語の抑揚と結び付け、言語の発達を促す 個別のABA・・・担当の先生とのやりとりから、コミュニケーションの基礎的能力の向上、言語の受容と表出、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得、状況に応じたコミュニケーションの力を身に着けるなどを行う					
	人間関係 社会性	職員を担当制にすることにより、 アタッチメント(愛着)の形成と安定、コミュニケーションの時間も設ける事により、遊びを通した社会性の発達や事故の理解と行動の調整 仲間づくりと集団への参加をとして人間関係・社会性を養っていく					
家族支援		アタッチメント(愛着)の形成について、家族(兄弟を含む)からの相談援助、 障害の特性に配慮した家族環境の整備などの援助を行う フィードバックの時間を毎回設定し、ご家庭からの心配事の相談を受ける事		移行支援		幼稚園、保育所などの連携、幼稚園、保育所などへの移行支援 ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備 同年代の子供をはじめとした地域への仲間づくりなどへの支援を行う	
地域支援・地域連携		通所する関係機関との電話や見学などをすることにより 通所する事にも関わる地域の関係者・関係機関と連携した支援を行う		職員の質の向上		事業所内の研修は、月に1回は必ず行い、自治体が行っている研修、民間の行っている研修に参加する機会を設け、職員が子供への適切な支援のための学びをする環境を設定する	
主な行事等		ご利用前の見学、説明 臨床心理士・公認心理士による相談援助 年長児のための就学に向けてのお話会等					